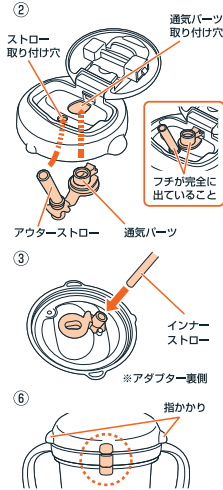


マグストローについて

組み立てかた

- ① ストローキャップのロックボタンを押してストローキャップを開きます。(8ページ参照)
 - ② アウターストローと通気パーツをストローアダプターの裏側からそれぞれの取り付け穴に差し込みます。アウターストローはアダプターの表側に出したストローの先端を引っ張り、根元のフチを完全に引き出してください。通気パーツは裏側から押し込みながら、表側に出した通気パーツの上部を指で引っ張り、根元のフチを完全に引き出してください。
 - ③ ストローキャップを開め、アダプター裏側のアウターストローの取り付け穴にインナーストローをしっかりと差し込んでください。しっかり奥まで差し込まれていないと、インナーストローが抜け落ちたり、インナーストロー先端がカップの底について飲みものが飲めない場合があります。
 - ④ ストローアダプターにパッキンを取り付けてください。(9ページ参照)
 - ⑤ カップにハンドルをセットしてください。(9ページ参照)
 - ⑥ 飲みものを入れたカップに、①～④でセットされたストローアダプターを取り付けてください。このとき、ストローアダプターのサイドの指かかりを利用して、ハンドルの凸部とアダプターの凸部があうまでしっかりアダプターを締めてください。
- ※アウターストローをはずすときは、アウターストローと通気パーツの裏側部分を引っばってははずしてください。



7

操作方法

飲むとき

- ① ストローキャップのロックボタンを矢印の方向に押し、キャップロックがはずれストローキャップが開きます。
 - ② ストローキャップを全開位置まで開くとカチッと音かしてロックされます。
- ※ストローをセットした状態で、ストローキャップを長時間開けたままにしておくと、ストローが変形する場合がありますが、指で軽くつまむことで元に戻ります。

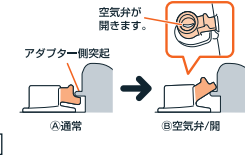


閉じるとき

- ① アウターストローが、ストローキャップの内側に折りたたまれていることを確認しながらストローキャップを開きます。
 - ② ストローキャップを上から押すと、「カチッ」と音かしてストローキャップがロックされます。
- ※このときロックボタンを押しながら操作する必要はありません。

ストロー先端から飲みものが出てくる場合には

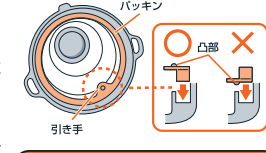
- マグストローは密閉性が高いため、キャップを開いたまま放置するとカップの内と外の圧力の差で飲みものがストローから出てくる場合があります。そのような場合は、通気パーツを図のようにアダプター側突起に引っかけて、空気弁が開き圧力が抜け、飲みものが出てくることを防ぐことができます。
- ※図⑧の状態でマグを倒したり持ち運んだりすると中身がこぼれますので、おさまに与える前には必ず通気パーツを通常の状態(図A)に戻してください。
- ※通気パーツを指で押し当てて変形させることで、一時的に圧力を抜くこともできます。



8

パッキンの取り付けかた

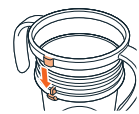
- ご使用前に
 - ・パッキンに亀裂や傷などのないことを確認してください。傷ついたパッキンは使用しないでください。飲みものが漏れるおそれがあります。
 - ・パッキンは消耗品ですので、古くなるや弾力性がなくなり飲みものが漏れる場合があります。早めの交換をおすすめします。
- パッキンの取り付けかた
 - 右図のように、引き手にある凸部を表側にアダプターの溝にセットしてください。



注意
パッキンが正しく取り付けられていないと、飲みものが漏れるおそれがあります。

ハンドルの取り付けかた

- カップの突起とハンドルの凹部があうようにセットしてください。



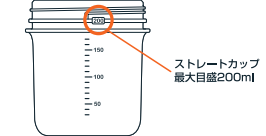
注意

- ハンドルはカップに固定されません。アダプターをはずしたときは、ハンドルを持ってカップを持ち上げないでください。カップがはずれて飲みものがこぼれたり、熱い飲みもの場合はヤケドのおそれがあります。
- ハンドルがカップに正しくセットされない、アダプターがしっかり締められず、飲みものが漏れるおそれがあります。

9

目盛について

- カップに刻印された目盛と実際の水量には、多少差がある場合があります。目盛は目安としてお使いください。ストレートカップは10ml刻みの目盛を表示しています。
- 最大目盛 ストレートカップ…200ml



警告

- カップ内に熱湯など高温の液体が入っているときは、絶対にキャップを操作したり通気パーツを指で操作しないでください。またおさまには絶対に触れさせないでください。熱湯などがふき出し、ヤケドのおそれがあります。

10

マグストローについて

注意

- 次のような場合にはストロー先端から飲みものが出てくる場合がありますので、指で通気パーツを変形させカップ内の圧力を十分抜いてください。また通気パーツを変形させるときは、通気パーツから飲みものがふき出す場合がありますので注意して行ってください。
 - ・温かい飲みものをおさまに与えるとき。
 - ・冷たい飲みものを入れた状態でしばらく放置したとき。
- ストローキャップを開いた状態で、長時間放置しないでください。周囲の環境変化によりストローから飲みものが出てくる場合がありますので、必ずストローキャップを開めてください。
- ストローキャップのロックは左右ともかかっていることを確認してください。片方だけかかった状態で持ち運ぶと、キャップが開き飲みものが漏れる場合があります。



マグストローのお手入れについて

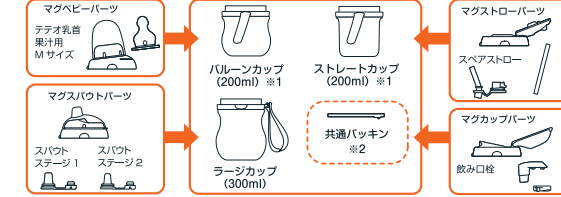
注意

- 使用後は各部品に分解して(6ページ参照)、すみやかに洗浄・消毒または除菌し、十分に乾燥させてください。
 - ・カビや雑菌などが繁殖する場合があります。
 - ・着色された飲みものや果汁などを入れた場合、部品に色やにおいがつく場合があります。
- 過剰な漂白、薬剤、煮沸、電子レンジによる消毒または除菌は製品を早く傷めます。
- 洗浄や漂白をしても色が落ちなくなった場合は、部品の交換をおすすめします。

11

テオマグシリーズの別売パーツ・消耗品のご案内

各種パーツ、吸い口などの消耗品はコンピテオマグシリーズにて別売しております。おさまの発育状況にあわせて組み替えいただけます。また、消耗品も取りそろえてあります。



- ※1 ストレートカップ、バルーンカップのパーツ販売は行っていません。
- ※2 パッキンはコンピマグ用パッキンもご使用いただけます。その他のコンピマグ用部品は使用できません。詳しくは取り扱い店、または弊社コンシューマープラザまでお問い合わせください。

洗浄・消毒または除菌のしかた

洗浄のしかた

- 必ず洗浄したものをお使いください。はじめてご使用になる前にも必ず洗浄してください。
- 使用後はすぐにぬるま湯につけ、やわらかいスポンジを使用し、食器用中性洗剤でよく洗浄してください。
- マグストローは各部品に分解し、アウター・インナーストローはよくみ洗いし、強めの水流で洗い流してください。空気弁に汚れがつまった場合は、つまようじなどで軽くついて掃除してください。ストローキャップの内側が汚れた場合は、強めの水流でよく洗い流してください。

12

洗浄・消毒または除菌のしかた

- 汚れが落ちにくい場合は、台所用酸素系漂白剤をご使用ください。詳しくは漂白剤の使用法にしてください。
- 食器洗い乾燥機をご使用の場合、各製品の使用上の注意にしたがってご使用ください。
- 食器洗い乾燥機をご使用の場合、表面や絵柄部の汚れがおちにくいことがありますのでご注意ください。

消毒または除菌のしかた

- 薬剤・電子レンジ・煮沸による消毒または除菌ができます。
 - ・煮沸消毒について
 - 煮沸の際は、たっぷりのお湯を沸騰させた鍋に、2～3分間入れてください。製品がお湯につかるようにしてください。
 - ・薬液消毒・除菌について
 - 哺乳用品用の薬剤をお使いください。詳しくは各薬剤の使用法にしたがってください。
 - ・電子レンジ除菌について
 - 哺乳用品用の用具をお使いください。詳しくは製品の取り扱い方法にしたがってください。
- 食品により、洗浄・消毒または除菌後でも、色が残る場合があります。

注意

- たわし、スポンジたわしの硬い部分、研磨剤入りナイロンたわし、金属たわしなどは使用しないでください。製品の表面に傷がついたり、印刷がはがれたりするおそれがあります。
- 3分以上、煮沸消毒しないでください。過度の煮沸は製品を早く傷めます。
- 小さい鍋で煮沸消毒すると、製品が鍋のフチに密着して変形するおそれがあります。
- 電子レンジ除菌および煮沸消毒後は、製品が高温になります。ヤケドに注意してください。

13

使用後の保管について

- 食器セットは重ねると衛生的に収納ができます。
- おさまの手の届かない場所で保管してください。おさまが部品を飲み込むおそれがあります。

セット内容・品質表示

部品名	原料樹脂	耐熱温度	耐冷温度	容量
ご飯碗 小ばち ミルクカップ 小皿 ランチ皿 フィーディングスプーン スプーン・フォーク	ポリプロピレン	140℃	-30℃	220ml 310ml 220ml
マグストロー ストローキャップ ロックボタン (本体・キャップロック) ハンドル ストローアダプター	ポリプロピレン	140℃	-30℃	
マグストロー ロックボタン (ロックスプリング) ロックボタンスプリング ストロー(アウター・インナー) パッキン	合成ゴム (シリコンゴム)	140℃	-30℃	
カップ	ポリプロピレン	130℃	-30℃	230ml (最大目盛200ml)

14